

キャロウェイ
最新AI設計フェースを搭載して、
3モデルを一気にリニューアル
APEX UTシリーズ

キャロウェイゴルフ株式会社（東京都港区南青山 社長：庄司明久）は、「APEX UTシリーズ」を2025年9月19日より随時、全国のキャロウェイゴルフ取扱店とキャロウェイオンラインストア(callawaygolf.jp)にて発売いたします。

「APEX UTシリーズ」として新たに登場したのは、2023年型以来のリニューアルとなった「APEX UW」「APEX UTアイアン」と、SUPER HYBRIDの名を持つモデルのニューバージョン、「APEX Ti SUPER HYBRID」です。いずれにも専用の最新AI設計フェース、Ai APEX FACEが導入されており、番手が4種類ずつであることも共通点として挙げられます。「APEX UW」は、初代に似たステップ・ソールデザインと、ELYTEシリーズのフェアウェイウッドで登場したタンクステン・スピードウェーブを採用した点が特徴的で、「APEX Ti SUPER HYBRID」では、従来よりも操作性を重視したヘッド形状になったことが大きな変化と言えます。なかでもっとも目新しいテクノロジーを盛り込んだのが「APEX UTアイアン」で、いよいよボディまでもAIが設計しており、加えて、ヘッドがこれまでなかったほどの多層構造となっているところも注目すべきポイントです。

APEX UT（エイペックス ユーティリティ）シリーズ

APEX
UTILITY SERIES



APEX UW (エイペックス ユーダブリュー)



ステップ・ソールデザインで、
ソール後部が高くなっている

クラウンにはカーボンを使い、ホーゼルも長めに

ほかにも、2021年モデルから進化した部分があります。まず構えたときに目に入るが、クラウンをフェース側と後部に分けるように入っているラインで、カーボン製のクラウンが採用されていることがすぐにわかります。素材は、トライアクシャル・カーボンとなっています。また、ホーゼルは2023年モデルよりも、やや長く設計されています。これらは、後述の重量配分の最適化に関係している部分です。

タングステン・スピードウェーブをヘッド内に搭載

ソール前方には、スクリューウェイト（約5g）が搭載されていますが、その両側に2つのビスがあることからもわかるように、ELYTEシリーズのフェアウェイウッドで登場したタングステン・スピードウェーブも内蔵されています。ヘッド内で浮いたようなスタイルで搭載されているもので、フェースのたわみを損なうことなく、トップに近いインパクトであってもしっかりとボールを高く遠くへ打ち出すことを可能にしています。なお、このタングステン・スピードウェーブは、単に重心を低くしてボールの上がりやすさややさしさを求めているものではありません。プロや上級者が求める弾道、スピンドル性を備えるべく、前述のカーボン製クラウンや長めのホーゼルとバランスを取りながら、最適な重量配分を追求したものとなっています。スクリューウェイトは、プレーヤーごとに、さらに好みのフィーリングへと調整できるようにする役割を担っています。

番手間で0.75インチの差をつけたクラブ長さ

新しい「APEX UW」は前作同様、ロフト17度、19度、21度、23度を用意しています。ただし、前作などでは、2度刻みのロフト差により、距離のピッチがはっきり出にくかった面もあったということで、クラブ長さが変更されています。前作の17度と19度はいずれも41インチでしたが、17度を41.75インチ、19度を41インチに設定。同様に、40.5インチだった21度は40.25インチ、40.0インチだった23度は39.5インチです。つまり、番手間の差は0.75インチずつになっているということになります。

人気の初代型シェイプを復活させ、
さらなるパフォーマンスアップも実現

ステップ・ソールデザインで抜群の抜けの良さ

フェアウェイウッドとユーティリティの良い部分（フェアウェイウッドは打ち出し角とスピンドル量、ユーティリティは操作性）を組み合わせたクラブとして開発され、2022年1月に初代、2023年中盤に2代目が発売された「APEX UW」ですが、今回は、現在もスタッフプレーヤーやツアープロが多く使用している初代モデルをブラッシュアップしたスタイルとなりました。ほぼ2022年モデルを踏襲したヘッドシェイプは、操作性の高さを感じさせるコンパクトなもので、ソールには当時初登場となったステップ・ソールデザインも採用。抜群の抜けの良さを発揮します。

UWバージョンとして設計されているAi APEX FACE

フェースには、「Ai APEX FACE」が導入されています。これは、ELYTEシリーズで登場したAi 10x FACEのAPEX UWバージョンとも言えるもので、このモデルのターゲットとなるスキルの高いプレーヤーのリアルなデータを生かしながらAIが設計した最新のフェースです。コントロールポイントが従来のAI設計フェースよりも大幅に増えており、打点位置ごとに最適なスピンドル、打ち出し角へと補正するようになっています。また、優れた強度を持ち、反発性能が高いことで知られるマレージング鋼C300をフェースカップ構造にて採用。驚異のボールスピードを実現しながらも、前作よりもバラつきの少ない着弾範囲を実現します。



2021年、2023年モデルとは異なり、
クラウンにはトライアクシャル・カーボンを採用

APEX Ti SUPER HYBRID（エイペックス ティーアイ スーパー ハイブリッド）

APEX
TI SUPER HYBRID

2025年9月19日発売予定

チタンフェースを生かして驚異的な飛距離性能

「APEX Ti SUPER HYBRID」は、今回のAPEX UTシリーズ（APEX UW、APEX Ti SUPER HYBRID、APEX UTアイアン）の中でも、より飛距離性能を重視するというコンセプトのもとで開発されたモデルです。どちらかといえば大きめのヘッドによるやさしいモデルというイメージが強かった、過去のSUPER HYBRID（2019年）やEPIC SUPER HYBRID（2021年）、PARADYM SUPER HYBRID（2023年）とは、立ち位置が少し異なります。PARADYM SUPER HYBRIDと比較すると、「APEX Ti SUPER HYBRID」のヘッドは、前後長もフェース長も小さくなり、操作性を強化した形に生まれ変わりました。フェースはチタン製、ボディはステンレススチール製です。過去モデルとは異なり、カーボン製のクラウンは導入していません。また、PARADYM SUPER HYBRIDでは、ソールとヘッド内部にウェイトが搭載されていましたが、「APEX Ti SUPER HYBRID」では、ヘッド内には設置せず、ソールのスクリューウェイトのみとしています。これにより重心位置を高くすることで、スピンドル性能とコントロール性能の向上を図っています。

「Ai APEX FACE」で突き抜けるような弾道

フェースには、APEX UWと同様、最新の「Ai APEX FACE」が導入されていますが、もちろん、「APEX Ti SUPER HYBRID」専用の設計です。ELYTEシリーズで登場したAi 10x FACEのAPEX Ti SUPER HYBRIDバージョンと言えるものになっており、このモデルのターゲットとなる中間層のプレーヤーのリアルなデータを生かしながらAIが設計しています。ミスヒットに強さを発揮したり、着弾範囲を小さくしたりする弾道補正能力も備えており、強く前へ前へと出していくボールの打ち出し、ボールスピードを重視しながら、コントロール性能も備えた、高次元の機能を持つフェースとなっています。



最新作は、操作性とスーパーな飛びに注力
UW同様の抜けの良いソールも装備



台形状の段差をつけたステップ・ソールデザイン

ソールには、APEX UWと同様にステップ・ソールデザインが採用されました。フェース側とヘッド後端の間の中間部分に、台形状の段差を設置。ソールの後ろ側が少し地面から浮くような形状になっているため、ボールをヒットした際には、気持ち良くヘッドが抜けていきます。また、ヘッドの座りの良さも考慮されており、地面にセットした際、ヘッドがぐらついたり、回転したりはせず、とても構えやすくなっています。

クラブ長さの設定も、飛距離性能の向上に貢献

前述のとおり、「APEX Ti SUPER HYBRID」は、より飛距離性能を重視した設計となっており、それはクラブ長さからも伺えます。ELYTEユーティリティと比較しても、番手それぞれで0.25インチ長い設定となっており、より飛ばしていくことができる仕様になっていると言えます。

全番手にELYTEのユーティリティと同じホーゼル

「APEX Ti SUPER HYBRID」の番手は、2H（ロフト16度）、3H（ロフト18度）、4H（ロフト21度）、5H（ロフト24度）の4種類で、2Hについてはカスタムのみでの展開となります。全番手に装備されているアジャスタブルホーゼルは、ELYTEシリーズのユーティリティで初採用となったニューオプティフィット4と呼ばれる最新のもので、計7つのロフトとライ角のコンビネーションが可能となっています。

▼ CALLAWAY EXCLUSIVE

APEX

UT



ボディにもAI設計を導入
多層構造のNEW UTアイアン

AIによる設計で、効果的にたわむボディに進化

新しい「APEX UTアイアン」で、何より画期的なのがボディです。フェースに留まらず、ボディにもAIによる設計が導入されました。ボディも効果的にたわませるためにものであり、このボディのたわみには大きく分けて2つの目的があります。

1つ目は耐久性で、フェースカップとボディの溶接部分にかかるインパクト時の負荷を、フレーム構造やバックフェースの窪みなどを使用することなく、ボディのたわみによって受け止めようという考えです。AI設計により、負荷に応じてボディが最適なたわみ方をするようになっています。

補正能力が向上し、さらに飛んで、着弾範囲も狭く

ボディのたわみのもう1つの目的は、フェースの弾道補正能力を向上させることにあります。フェースにはAi APEX FACE + フェースカップ(I#4-7まで採用)が採用されており、フェース上のコントロールポイントごとに効果的にフェースがたわむことで、弾道を最適なものへと補正してくれるようになっています。ただし、従来のボディの場合、このフェースのたわみはドライバーなどのウッド系に比べるとわずかなものに留まっていたのが実情でした。今回はAIによる設計が導入された結果、ボディが効果的にたわむことでフェースのたわみも増幅され、補正能力がアップ。これまでよりも着弾範囲が狭く、かつ、遠くへと飛ばせるボール初速、スピンドル、打ち出し角へと補正できるようになりました。APEX UTアイアンのターゲットとなる、高い操作性を求めて、ロングアイアンではない寛容性も欲しい、スキルの高いプレーヤーに寄与するテクノロジーが組み込まれたクラブになっているといえます。

これまでなかったほどの多層構造ヘッドを導入

「APEX UTアイアン」のヘッドは、これまでにないくらいの多層構造となっているところも大きな特徴です。フレックスコアテクノロジーと名づけられており、フェースとボディに加え、中空構造の内部にはウレタン・マイクロスフィア、バックフェース側下部にはタンクスティンウェイト、そして、ボディとタンクスティンウェイトの間にはステンレスと樹脂を組み合わせたパーツも搭載しています。従来どおり、ウレタン・マイクロスフィアはフェースの無駄な振動の吸収と打感の向上、タンクスティンウェイトは重量配分の最適化が目的で、新たに導入されたステンレス + 樹脂製パーツは、ボディのたわみによって起こるタンクスティンウェイトの振動を防止します。また、このパーツの採用は、結果としてタンクスティンウェイトの搭載場所を、より後方にしてくれるため、深重心化にも貢献、ロングアイアンでは打ちにくい高弾道を実現しております。



ボディとタンクスティンウェイトの間に見える黒い樹脂

「APEX UTアイアン」のソールでは、トレーリングエッジ部分のタンクスティンウェイトに面取りが入れられており、ヘッドが気持ち良く抜けるようになっています。また、ソールとバックフェースの中間部分で目立っているのが、ボディとタンクスティンウェイトに挟まれているステンレス + 樹脂製パーツの一部で、多層構造の一端を見ることができるようになっています。

前作よりコンパクトに見えて、トップブレードも薄く

今回の「APEX UTアイアン」と前作の2023年モデルを比較すると、ニューモデルのほうが、フェース長が小さく、フェースの面積が小さめで、トップブレードも薄くなっていますが、オフセットは逆に少し大きい設計です。操作性の高さを意識しながらも、つかまえやすい顔立ちに仕上がっていると言えます。番手ラインアップは、18°、20°、22°、24°の4種類で、それぞれのロフト角がそのまま番手で示されています。発売はCALLAWAY EXCLUSIVEからとなり、カスタムにも対応します。



2023年モデルと比べると、よりコンパクトでシャープな形状になっている一方で、オフセットは少し大きめなものに

【APEX UW スペック】

番手	17°	19°	21°	23°
フェース素材 / 構造	マレージング鋼C300 / Ai APEXフェース+フォージド・フェースカップ			
ボディ素材	17-4ステンレススチール+トライアクシャル・カーボンクラウン+タングステン・スピードウェーブ+ソールウェイト約5g			
クラブ長さ (インチ)	41.75	41.0	40.25	39.5
ヘッド体積 (cm3)	126	126	126	120
ロフト角 (°)	17.0	19.0	21.0	23.0
ライ角 (°)	58.3	59.0	59.8	60.5

シャフト名 (硬さ)	[A] (S)	[A] (SR)
ラインアップ	17° ○	○
	19° ○	○
	21° ○	○
	23° ○	○
バランス	D1	
クラブ重さ (21°)	約360g	約358g
シャフト重さ (21°)	約69.5g	約68.0g
シャフトトルク	3.9	
シャフト調子	中調子	

[A] TENSEI BLACK SILVER 70 for Callaway (S, SR)



1本 ¥60,500 (税抜価格¥55,000)

○ : 通常在庫 *左用モデルの設定はありません

*TENSEI BLACK SILVER 70 for Callawayは、シャフトカット前の値になります。

*Assembled in China / Japan / Vietnam ヘッドカバー : Made in China

GRIP : Callaway Tour Velvetラバー ブラック/ホワイト バックライン無し



[A]シャフト装着 : 約50g, 口径60

ヘッドカバー



【APEX Ti SUPER HYBRID スペック】

番手	2H	3H	4H	5H
フェース素材 / 構造	6-4チタン / Ai APEXフェース+フォージド・フェースカップ			
ボディ素材	17-4ステンレススチール / ソールウェイト約7g			
クラブ長さ (インチ)	41.5	40.875	40.25	39.625
ヘッド体積 (cm³)	131	123	120	113
ロフト角 (°)	16.0	18.0	21.0	24.0
ライ角 (°)	59.0	59.6	60.3	60.9

シャフト名 (硬さ)	[A] (S)	[A] (SR)	[A] (R)
ラインアップ	2H	□	□
	3H	○	□
	4H	○	○
	5H	○	○
バランス	D1		
クラブ重さ (5H)	約363g	約362g	約360g
シャフト重さ (5H)	約69.0g	約67.5g	約66.0g
シャフトトルク	3.3		
シャフト調子	中調子		

[A] VENTUS SILVER 6 for Callaway (S, SR, R)
1本 ¥70,400 (税抜価格¥64,000)



○ : 通常在庫 □ : 受注生産 * 左用モデルの設定はありません
* VENTUS SILVER 6 for Callawayは、シャフトカット前の値になります。
* Assembled in China / Japan ヘッドカバー : Made in China

GRIP : Callaway Tour Velvetラバー ブラック/ホワイト バックライン無し
[A]シャフト装着 : 約50g, 口径60

ヘッドカバー



【APEX UTアイアン スペック】



番手	18°	20°	22°	24°
フェース素材 / 構造	17-4ステンレススチール / Ai APEXフェース+フェースカップ			
ボディ素材	軟鉄鍛造 + ウレタン・マイクロスフィア+タングステンウェイト			
クラブ長さ (インチ)	40.0	39.5	39.0	38.5
ロフト角 (°)	18.0	20.0	22.0	24.0
ライ角 (°)	60.0	60.5	61.0	61.5
ラインアップ	[A](S)	○	○	○
バランス	[A](S)	D2		

シャフト名 (硬さ)	[A] (S)
クラブ重さ (20°)	約400g
シャフト重さ (20°)	106.5g
シャフトトルク	1.7
シャフト調子	元調子

[A]N.S.PRO MODUS³ TOUR 105(S)
1本 ¥41,800 (税抜価格¥38,000)



○ : 通常在庫 * 左用モデルの設定はありません

* シャフトスペック値は、メーカー（N.S.PRO MODUS³ TOUR 105=日本シャフト株式会社）の公表値になります。

* Assembled in China / Japan / Vietnam

GRIP : Callaway Tour Velvetラバー M60R ブラック/ホワイト バックライン無し
[A]シャフト装着 : 約50g, 口径60

